

令和7年度(2025年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | |
|-----|--------------|----------|
| 学校名 | 神崎市立千代田西部小学校 | 児童数 204人 |
|-----|--------------|----------|

I.取組前の宣言内容

| | | |
|----|------|-----------------------------------|
| 宣言 | 目標 | 本をひらいて広い世界へ |
| | 取組期間 | 令和7年(2025年)4月8日～令和7年(2025年)11月30日 |

※令和7年(2025年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和7年(2025年)11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

| | | | | | | | | |
|----|----------|--|------|------|------|---------|---------|-----|
| 評価 | 取組人数 | 204人 | 実施日数 | 237日 | 読書冊数 | 34,091冊 | 連携した団体数 | 2団体 |
| | 取組内容(概要) | <ul style="list-style-type: none"> ●「読む力」と「書く力」を育む取組 <ul style="list-style-type: none"> ・「せんだん賞」…おすすめ30選を含む100冊の本を読み、「読書の記録」に読んだ本の感想を書いた児童に「せんだん賞」を授与。 ・「読書の記録」…おすすめ30選の中から1冊と学校でのおすすめの本や分類に限らず自分が好きな本を1冊選び、計2冊の本の感想又は紹介文を書く。感じたことを言葉にする作業を行うことで、「書く力」を育む。 ●学校行事に合わせたイベントや展示 <ul style="list-style-type: none"> ・「赤白対抗 読書 de 玉入れ」 …体育大会の関連イベントとして赤組と白組に分かれ貸出冊数を競う読書玉入れを実施。(10日間) ・授業の単元や校内行事に合わせたコーナー展示 (修学旅行、いもほり、キャリア教育など) ●本との出会いや、読書の楽しさを体験できるような取組 <ul style="list-style-type: none"> ・「親子読書 de 回覧板」 …クラスでグループを作り、グループごとに1冊の絵本を回覧する「読書回覧板」を実施。 ・「本をひらいて広い世界へ ～本を読んで旅に出よう～」 …秋の図書館まつりのアフターイベントとして、本を通して世界各国のおはなしや、文化・歴史に触れるという展示を行った。テーマに沿って集めた本を、国と地域を大きく6つに分ける「世界6州」で分類し、州ごとに色分けをして展示を行った。各州の色のラベルがついた本を読むと、読書パスポートにスタンプを押すことができる。 | | | | | | |

| | |
|--|---|
| <p>工夫したこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より、せんだん賞の達成条件である「読書の記録」で3冊の感想を書く取組を1冊に変更した。理由は、1冊の感想を詳しく書いてもらうために書くスペースを広くすることと、書くことが苦手な児童でも挑戦しやすくするためである。また、本を読んだ時に感じたことをメモしておく「読書感想まとめシート」を用意し、感想を書く際に活用できるようにした。 ・「赤白対抗 読書 de 玉入れ」では、参加意欲が高まるよう中間発表をこまめに行うようにした。(2～3日ごと) ・「読書 de 回覧板」では、図書主任、図書館司書が相談をしながら、各学年の年齢に応じた本や親子で読むことで心を通わせられるような本を選ぶようにした。 ・「本をひらいて世界へ」では、旅に出たくなるようなお話の本や世界の文化や歴史を知ることができる本を集め展示したが、学校で所蔵しているものだけでは十分ではなかったので、公共図書館に協力を依頼し、展示本の充実を図った。 ・旅をする雰囲気味わってもらえるよう、世界地図を載せた「読書パスポート」というものをつくり、読書を通して旅をした場所にスタンプを押すようにした。 ・世界の本のコーナーのそばに、地球儀や地図帳、世界各国の文化や町の風景を見ることができる本なども一緒に並べ、気になることや行ってみたい場所があった時に学びを深められるようにした。 |
| <p>取り組んだ感想</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「読書の記録」の感想を3冊から1冊にし、書くスペースを広くしたことで、以前より1冊について具体的に感じたことを書くようになった。また、自分のおすすめの本の紹介文を書くことで、その本の魅力を言葉にすることが自然とできるようになり、おすすめの本の感想を書く際に役立っていた。 ・「読書感想まとめシート」は、簡条書きで感じたことをメモすることができるので、メモを並び替えることで2～3行の感想を書くことができるようになった。ただ、活用できている児童が少ないところが今後の課題である。 ・こちらから働きかけたわけではないが、体育大会後に上級生と下級生と一緒に図書室にきて一緒に本を読んだり、読み聞かせをし合ったりする姿が多くみられた。本校の“全校のみんなが一丸となって行事を盛り上げる”という雰囲気がつなげてくれた光景だと感じた。 ・「親子読書 de 回覧板」は「今まで読んだことがない本を読むことができよかった」「親子で本を読んでコミュニケーションをとることができた」「グループごとと同じ本を読むことができるのが面白い」など今回も保護者・児童共に好評だった。また、回覧板で読んだ本を、もう一回読みたいと後日借りに来る児童の姿などもあった。昨年度より始まり今年で2回目だが、続けていきたい取組のひとつである。 ・「本をひらいて広い世界へ」では、「初めてきた名前の国だったけど、本を読んで実際に行ってみたくなった」「この国もアジアだったの？」などと、新しい発見があり楽しんでもらえている。地球儀や地図帳で国の場所を探す児童の姿もある。 |
| <p>今後の取組予定 (令和7年(2025年)12月 ～令和8年(2026年)3月)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今行っている「本をひらいて広い世界へ」を12月の最終貸出日まで行う。 ・「せんだん賞」は今年度もおよそ4割の児童が達成している。(11月現)今後も個々の頑張りを認めながら声掛けを行ない、達成率があがるよう働きかけていく。 |

校長室前に掲示されている「読書の木」

100冊以上の本を借りた児童の名前の花が咲きます。
204名中166名が達成(2025年11月30日現在)



せんだん賞表彰式(校長室にて)



読書の記録及び読書感想まとめシート

どくしょからでる
読書感想まとめシート

年 組 名 前

「おすすめ30選」の中で すきだった 本 について思ったことなどを
読書感想まとめシート に メモしてみよう!

月 日 (読み終わった日)

本の 題名:

本の表紙・題名を見て思ったこと/この本を選んだ理由など

本の中で心に残ったことや好きだった場面
(〇〇ページのこの言葉がすきだったなど、印象に残ったことをメモしよう)

この本を読んで感じたこと

- ・この本を読んでどんな気持ちになったかな?
- ・この本を読んでどんなことが分かったかな?
- ・おはなしにでてきた主人公と同じような経験をしたことはある?
- ・自分だったらどうするかな?

など、自分にインタビューをしながら思ったことを書いてみよう!

どくしょ まろく
読書の記録

年 組 名 前

「おすすめ30選」を読み終えたら、読書感想シートを見ながら感想を書こう。

*「おすすめ30選」の中から好きだった本を1冊選びましょう。

本の 題名:

作者の名前:

・「おすすめ30選」の中から好きだった本を1冊選び感想を書

わたしのおすすめ!

あなたがおすすめしたい「おきにいりの1冊」を紹介しよう。

*好きな理由やおすすめのポイントを書いてみましょう。

本の 題名:

作者の名前:

・自分のお気に入りの本を1冊選び、紹介文を書く。

赤白対抗 どくしょ de 玉入れ



体育大会後の図書室での光景



先生たちのおすすめの本(図書館まつり)



修学旅行での思い出を振り返ろう



親子読書de 回覧板

親子読書 de 回覧板 感想 (2) 年 お子様の名前 ()

子供の年齢に合う本を選ぶのも難しいと感じるので、回覧板で本がまわってくるととても助かります。1か月に1冊くらいペースでまわってきたらうれしいです。

親子読書 de 回覧板 感想 (3) 年 お子様の名前 ()

読書の回覧板はとても良いと思います。日頃子供や自分が選ばないような本に出会うきっかけになりました。今後子供とブッククラクションを大事に楽しめようと思います。

回覧する本のおすすめの本があれば、書いてください。(じふんのことはおしらせです!)

親子読書 de 回覧板 感想 (6) 年 お子様の名前 ()

昨年も読書回覧板があり、回ってきた時はこんな回覧板とても良いなと思い日頃選ばないような本に出会ったりお友達のおすすめなどが分かったのとても楽しく親子で読めました。

回覧する本のおすすめの本があれば、書いてください。(返すにお願いします)

本をひらいて広い世界へ

